

【リスト参照方式】

参考文献・参考資料 の書き方（日本語文献）

目次

著書 / 訳書

編著・共著 / 編著・共著の中の論文 / 学術雑誌・専門雑誌の論文

修士論文・博士論文 / 国や自治体が刊行している資料 / 新聞記事

Web サイト / 楽譜 / 音楽の視聴覚資料 / 映画

コラム

Q&A

1 参考文献・参考資料の書き方【日本語文献編】

1.1 著書

著者名（刊行年）『書名』出版社.

青葉杜樹（2017）『大学生から始めるレポートの書き方』東北出版.

青葉杜樹・広瀬緑・仙台太郎・片平学・森洋子（2015）『大学生への研究倫理教育』宮城書房.

- ✓ 和書の場合、書籍名を『』（二重かぎカッコ）で囲む。
- ✓ 書籍名に副題がある場合は、副題の前に「：」（コロン）を付す。
- ✓ 2行にわたる場合は、左側を2文字分インデント（空白をあけること）する。
- ✓ 共著の場合、それぞれの著者名の間に「・」（ナカグロ）を入れる。
- ✓ 著者が多い場合、先頭に位置する著者1名を記述し、その他の著者名は「ほか」を用いて省略してもよい。（例：青葉杜樹ほか（2015）『大学生への研究倫理教育』宮城書房。）
- ✓ 同一文献の著者が複数名の時、記載の順番は著書の順番に従う（五十音順等の並べ替え×）。

1.2 訳書

原書情報 + 訳書情報

著者名,（刊行年）書名. 刊行地（都市名・州名）：出版社.（=訳書刊行年, 訳者名 訳『訳書名』出版社.）

Jones, M. (2014) *Learning Environment in Higher Education: Service-Learning for Citizenship*, London: TU Press. (=2016, 宮城政宗訳『高等教育の学習環境』仙台出版.)

もし原書がわからない場合は、カタカナでファミリーネーム（姓）から記す。（参考文献リストでは和書・洋書を分けず、姓のアルファベット順に並べるため。）

ジョーンズ, マイケル著, 宮城政宗訳（2016）『高等教育の学習環境』仙台出版.

- ✓ 最初に原書の情報を記して、その後カッコ内に日本語の書誌情報を記す。
- ✓ 欧文著者名の場合は、姓→名の順とし、姓と名はコンマで区切る。
- ✓ 訳書には、必ず原書の情報が書いてあるので、できる限り併記する（洋書名は斜体にする）。
- ✓ 訳者名の後に「訳」や「監訳」をつける。

Q & A

Q1. 敬称は必要ないのでしょうか？

A1. 必要ありません。フルネームできちんと記しましょう。

1.3 編著・共著

編者名（出版年）『書籍名』出版社.

東北太郎編（2016）『楽しいレポートの書き方講座』東北出版.

東北太郎・片平学編（2018）『基礎から学ぶ引用の仕方：より良いレポートを執筆するための条件』青葉社.

- ✓ 編著本の場合、編者名の最後に「編」をつける。
- ✓ 編著者が複数いる場合、著者名を「・」でつなぎ、最後の著者名の後ろに「編」をつける。

1.4 編著本・共著本の中の論文

著者名（出版年）「論文名」、編者名『書籍名』出版社、掲載ページ.

川内花子（2008）「文献の探索方法」、東北太郎・片平学編『基礎から学ぶ引用の仕方：より良いレポートを執筆するための条件』青葉社、pp.34-48.

- ✓ 論文の著者名の後ろにのみ出版年を記載し、編者名の後ろには出版年を記載しない。
- ✓ 論文タイトルは「」（一重かぎカッコ）で囲み、編著本タイトルは『』（二重かぎカッコ）で囲む。
- ✓ 掲載ページが1ページの場合は「p.34」のように書く。
- ✓ ページが複数にわたる場合には、「pp.」と書き、「pp.34-48」のように数字の間を「-（半角ハイフン）」でつなく。
- ✓ 論文タイトルに「第〇章」などがある場合、省略してもよい（書いてもよい）。

1.5 学術雑誌や専門雑誌の中に掲載されている論文

著者名（出版年）「論文名」『雑誌名』巻号、掲載ページ.

仙台太郎（2018）「レポート執筆に関する研究」『論述教育学会紀要』2巻1号、pp.1-18.

若林恭平（2011）「引用方法に着目した科学的作法の諸相」『引用研究』12号、pp.23-46.

Q & A Q2. 同じ人が同じ年に違う論文を書いている場合は、どう書けばいいですか？

A2. 出版年の後に a、b、c...とアルファベットを付けて区別しましょう。

〈例〉 片平学（2008a）『先行研究の読み方』東北大学書房.

片平学（2008b）『適切な引用方法を考える』仙台出版会.

1.6 修士論文や博士論文

著者名（論文提出年）『論文名』学位授与機関，取得年度 学位（修士 or 博士）論文.

泉四郎（2018）『大学における学生援助の実態と専門性』東北大学大学院教育学研究科，2017年度修士論文.

- ✓ 論文であるが、修士論文・博士論文名は『』（二重かぎカッコ）で囲む。

1.7 国/自治体や公共機関が刊行している資料

編著者名／発行機関名（刊行年）『資料名』発行元.

総務省編（2018）『平成30年版地方財政白書』.

若林桜子編（2015）『小中学生の学習活動実態調査報告書』みやぎ教育総合研究所.

- ✓ 著書と同じ要領で記す。
- ✓ 発行機関と発行元が同じ場合、上の例のように発行元の記載を省略してもよい。

1.8 新聞記事

執筆者名（発行年）「記事タイトル」『掲載紙名』発行年月日（朝刊/夕刊），掲載ページ.

南次郎（2014）「大学を考える3：サークル所属が大学生活を豊かにする？」『川内新聞』4月6日朝刊，p.7.

宮城野新聞（2009）「大学生のための生活講座」5月5日朝刊，pp.7-8.

- ✓ 執筆者名がわからない場合は、掲載紙名を記載する。

Q & A Q3 .Web サイトから入手した論文・資料・記事は、どう書けばいいですか？

A3. その論文に DOI (Digital Object Identifier)があるかどうかを探しましょう。DOIがあれば下のように記載します。（※DOIについてはコラムを参照してください）

川内花子（2016）「インターネットの活用方法」『インターネット研究会紀要』1巻2号，pp.1-25. (doi: 10.1011/jo0123456)

「DOI」がない場合には、論文を入手した URL と最終閲覧日を記載しましょう。Web サイト上の情報は、ページが削除されて閲覧できなくなる可能性があるため、PDF 化したり、紙媒体で印刷したりしておきましょう。

仙台太郎（2015）「文章の構成方法に関する基礎的分析」『東北大学研究紀要』(3), pp.1-10. <http://www.tohoku-u.reserch/kiyou/2015001010/pdf>. (閲覧 2018/9/15) .

1.9 Web サイト

作成者名（作成・登録年）「ページ名」，URL（最終閲覧日）。

文部科学省（2013）「国立大学改革」，http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku.htm（閲覧 2017/11/3）。

1.10 楽譜

作曲者名（刊行年）「曲名」，編者名『曲集名』出版社，ページ数。

レスペデーザ（2017）「ピアノ・ソナタ第3番作品11: 萩と杜」，宮城勲編『レスペデーザ名曲集2』月光舎，pp.24-51。

✓ 曲名を「」で、曲集名を『』で囲む。

1.11 音楽の視聴覚資料（CD, DVD, レコード等）

演奏者名（刊行年）「曲名」『CD名（レコード名/DVD名）』レーベル名，CD/レコード番号。

岡野桜（2015）「Philosophical Love」『HUMAN』University-Music，ABCD12345。

✓ 音楽のタイトルを「」で囲み、CDの名前を『』で囲む。

1.12 映画

監督名/脚本家名（放映年）『映画の名前』[媒体の種類] 発行地，発売元。

宮城野邦弘監督（2013）『大学生の非日常』[DVD] 日本，スタジオ東北。

✓ 映画のタイトルは『』（二重かぎカッコ）で囲む。

コラム—DOIとは？

DOIとはDigital Object Identifierのそれぞれの頭文字をとったものです。

DOIは、個々の論文に恒久的付与されます。そのため、電子ジャーナルの配布サイトのURLが変更になったとしても、DOIが付与されていれば、リンク切れが起こることがありません。例えば、DOIを把握していれば、以下のようにリンク先を入力するだけで、当該論文のページにアクセスできるようになっています。[https://doi.org/\(DOIコード\)](https://doi.org/(DOIコード))

DOIは電子ジャーナルが配布されているサイトの個々の論文のページに記載されていることが多いです。DOIを文献情報に記載するときはorg/よりも後ろの英数字を記載しましょう。